

東京音楽大学大学院修士課程 入学試験

作曲指揮専攻 指揮研究領域

出題意図

■聴音

演奏された旋律やハーモニーを聴き取り、楽譜に定着させる能力を問う課題である。音部記号、調号、拍子などの基礎的な楽譜の書き方を踏まえたうえで、正しい音高やリズム等を譜面に書けるかどうか重要である。

■新曲視唱

あらゆる音部記号を正しく読んだうえで、音程やリズムを正しく歌うだけでなく、テンポおよび発想指示や、ダイナミクス、アーティキュレーションなども含めて音楽表現ができるかどうかを問う課題である。楽譜を見て頭の中で音楽を鳴らし聴くこと、それを実際に声に出して歌うことを求めている。

■和声

調を正しく分析したうえで、和音の連結が理論と規則に則って解答されているかどうかを問う課題である。ソプラノ声部（またはバス声部）の動きが自然でかつ音楽的な起伏があるか、終止形が適切な位置に配置されているかなど、音楽表現として適した解答であることも求められる。

■小論文

指揮専攻を受験するに至った経緯や今後の目標などについて、自分をあらためて見つめ直しながら丁寧に論述できるかを問う課題である。

■口述試問

自身の将来に向けた具体的な展望と、それに付随する努力のプロセス、および困難に立ち向かう覚悟を問う。また、対面での対話により、自己理解の深さと論理的な表現力を評価する。